



大阪府市特別区設置協議会（法定協）で「都」構想の制度設計案の問題点を指摘する山中智子市議（左から3人目）＝17日、大阪市

「大阪維新の会」の橋下徹大阪市長が「僕の存在意義」と語る「大阪都」構想が行き詰まっています。大阪市を廃止し、特別区に分割する同構想の制度設計案には、府市の議員らで構成する法定協が開かれるたびに新たな疑問や批判が噴出。維新が協力を期待する公明党もじわりと距離をとり、橋下氏が掲げる10月の住民投票、来年4月の「都制」移行も現実性を失いつつあります。（藤原直）

揺れる

維新政治

「都構想を住民投票にいたることなくつづすなら僕や橋下市長に不信を出してほしい」。松井一郎知事は15日の会見でいらだち

を隠しませんでした。松井氏は「座して死を待つより打って出る」と出直し知事選・市長選の可能性まで示唆。脅しともとれることな発言で求めたのは、17日の法定協での区割り案の絞り込みです。維新が昨年中の合意を目指していたもの

「大阪都」構想行き詰まる 法定協で疑問や批判

で、松井氏は会見でも、もはや「ぎりぎりのスケジュール」だと強調していました。

結論は先送り

ところが、17日の法定協では公明党の委員が「次回の協議会で（態度を）お返しした

新以外の全会派が設計案を批判。未解決の問題が積み重なり住民投票の前提になる協定書のとりまとめすら危ぶまれています。

民サービスをカットするような計画になってくる▽市を特別区に分割しても96もの事業を一部事務組合が担うとされており、「住民に近い特別区」も空文化している。「都構想はまさに百害あって一利なし。技術的にも事実上不可能」という指摘です。

法定協 「大阪都」

を実現するた

▽法定協での区割りや事務分担などを定めた協定書のとりまとめ

招かれたのは区内選出議員。「足並みはそろっているのか」と

年8月に国会で成立した大都市地域特別区設置法に基づき、13年2月に設置された大阪府市特別区設置協議会のこと。府市の首長と議員の計20人で構成し、「都」構想の制度設計を議論しています。同法により市を廃止して特別区を設置するには

府市両議会での承認▽大阪市での住民投票での過半数の賛成―という三つの関門があります。法定協でも両議会でも維新が過半数に届いていません。「都」構想に厳しさを増す住民の目が、公明党の態度にも影響を及ぼしています。

政をなくして毎年4000億円を生み出す”とのうたい文句は絵空事と判明。府市再編・統合によるものは9・4億円にすぎない▽特別区設置に膨大な初期費用を要し、行政コストの増大にともない市

一人の指揮官で

同じ日の夜、大阪独自の自治会組織である西淀川区の地域振興会が開いた「都」構想問題の研修会には、熱弁をふるう日本共産党の北山良三市議団長の姿がありました。「今のままでは到底賛成できない」（公明）と

「橋下市長は『市政の声が上がりました。改革』による市民サービスのカットまで都構想の『効果額』に入れている。結局、都構想で何をしたいのかといえば、お金を都に集めて、カジノ誘致や無駄な開発など何でも一人の指揮官で決めたいということにすぎませ